

広報資料

【問い合わせ先】

呉海上保安部交通課長 伊藤

0823-22-0999



令和6年4月9日

令和6年1月～3月の海難発生状況（速報値）

～レジャー活性化！シーズン前に点検整備！～

呉海上保安部管内における令和6年1月～3月の海難発生状況は、船舶海難5件5隻（死者0人）、人身海難2件2人（死者2人）となっています。

参考：広島県内の海難発生状況は、船舶海難20件22隻（死者なし）、人身海難11件11人（死者7人）となっています。

➤ 海難の内訳【海難事例は別紙参照】

船舶海難 5件 5隻（死者0人） /前年同月 7件 9隻（死者1人）

人身海難 2件 2人（死者2人） /前年同月 2件 2人（死者なし）

➤ 海難防止のポイント

今期は、高齢の漁業者が、小型漁船上から海中転落（救命胴衣着用）し、死亡する事故が発生していること、また、これから気候が暖かくなり、プレジャーボート等の活動が活発化することから次の点を重点に呼び掛けを行います。

・高齢者への呼び掛け！

高齢者は、加齢により身体能力が低下する傾向があり、乗船時においては、甲板上の突起物や漁具等に躓きやすくなることで転倒や海中転落のリスクが高まり、岸壁や防波堤上においても同様にリスクが高まるため、乗船時のみならず海岸付近陸上部の移動時においても慎重に行動すること、また救命胴衣の常時着用等について、地区の民生委員や自治会の協力を得ながら高齢者への呼び掛けを継続していきます。

・定期的な整備や発航前点検で大切な船や命を守りましょう！

点検整備に自信がない場合は、専門業者による定期的な点検整備を受けましょう。

消耗品は、交換時期を確実に把握し、定期的に交換しましょう。

船長は、出港前に船体やエンジン、燃料、バッテリーの状態を確認・把握するとともに気象・海象に関する情報を収集するなど安全運航に努めましょう。

※本広報における数値は速報値であり、今後の調査結果により変更する場合があります。

海 難 事 例

■海難

【事例1】（火災）

発生日 令和6年1月27日（土）昼

発生場所 広島県呉市安浦沖合

事故船舶 プレジャーボート（長さ約6メートル）

事故概要 プレジャーボートは、船長他1名乗り組みで呉市安浦沖合にて、機関起動状態のまま漂泊しながら釣りをしていたところ、機関室から白煙と炎が上がるのを確認、乗員2名によりバケツで海水をかけ消火した。出火原因については、機関室排気管上に配線していた魚群探知機のコード類が排気管に接触、同コード類の被膜が溶けてショートして発火したものの。

【事例2】（海中転落・無人漂流）

発生日 令和6年3月15日（金）昼

発生場所 広島県呉市下蒲刈島北側海域

事故船舶 漁船（長さ約4メートル）

事故者 1人

事故概要 海中転落者は、自己所有の漁船に1名が乗り組み、呉市下蒲刈所在の船溜まりを出港、下蒲刈島北側海域の漁場にて1本釣り漁を操業中、誤って海中転落したものの。（推定）その後、僚船が無人漂流中の漁船と付近海上に浮いていた船長を発見し、漁船を船溜まりまで曳航するとともに船長を搬送、消防に引き継いだが搬送病院にて死亡が確認された。（救命胴衣着用）